

2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月8日

上場会社名 イハラサイエンス株式会社  
 コード番号 5999 URL <http://www.ihara-sc.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営統轄室長  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 長岡 敏  
 (氏名) 中川路 豊

TEL 03-6721-6988

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	6,017	36.0	1,333	45.8	1,594	64.7	1,162	64.6
2022年3月期第1四半期	4,425	22.4	914	65.8	968	68.0	706	14.6

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 1,184百万円 (66.7%) 2022年3月期第1四半期 710百万円 (5.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	107.99	107.26
2022年3月期第1四半期	66.86	66.47

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	28,375	22,686	79.4	2,093.90
2022年3月期	27,630	22,179	79.7	2,047.49

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 22,533百万円 2022年3月期 22,033百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	63.00	63.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	65.00	65.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	6.8	4,400	0.5	4,550	△1.8	3,200	△3.4	298.91

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	14,000,000 株	2022年3月期	14,000,000 株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	3,238,666 株	2022年3月期	3,238,630 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	10,761,353 株	2022年3月期1Q	10,561,396 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

記載している予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、業績の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、記載している予想に関する事項は2ページを参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症対策の進展などから経済活動に正常化の動きが見られたものの、ウクライナ問題の長期化や中国におけるロックダウンによるエネルギー・原材料価格の高騰、サプライチェーンの混乱のほか、インフレ圧力の高まりや急激な円安進行など、不透明な状況が続きました。

このような事業環境にあつて、当社グループは配管を科学し、より一層「お客様の望む時に、望むモノを、望む形と望むコストで」お届けすることに全力を注ぎ、「最適配管システムで世界のお客様に感動を」を合言葉に「感動創造企業」の実現に向けてグループ一丸となり取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は60億17百万円（前年同期比36.0%増）となり、営業利益は13億33百万円（前年同期比45.8%増）、経常利益は15億94百万円（前年同期比64.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億62百万円（前年同期比64.6%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

当社は製品構成から以下の2事業部を報告セグメントとしております。

#### (C P事業部)

半導体製造装置及び液晶製造装置市場向け、食品・医療市場向けに、クリーンな環境に対応した継手、バルブ、配管ユニット製品等を販売・生産していますが、前年度から続く半導体業界における設備投資の増加により、売上高は40億62百万円（前年同期比57.3%増）となり、セグメント利益は13億42百万円（同57.6%増）となりました。

#### (G P事業部)

建設機械、工作機械、車両、船舶、化学プラント等の一般産業市場向けの継手、バルブ、配管システム等を販売・生産していますが、建設機械市場、工作機械市場における需要回復により、売上高は19億56百万円（前年同期比7.2%増）となり、セグメント利益は4億19百万円（同4.6%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ7億45百万円増加し、283億75百万円となりました。これは、売上債権が3億83百万円増加、棚卸資産が3億91百万円増加したことなどによるものです。

#### (負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ2億38百万円増加し、56億89百万円となりました。これは、未払金が5億99百万円増加した一方で、短期借入金が1億円減少したことなどによるものです。

#### (純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ5億6百万円増加し、226億86百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益11億62百万円と配当金支払い6億77百万円などにより、利益剰余金が4億84百万円増加したことなどによるものです。以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末79.7%から当第1四半期連結会計期間末79.4%となり、1株当たり純資産額は前連結会計年度末2,047円49銭から当第1四半期連結会計期間末2,093円90銭となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期以降における、半導体業界における設備投資の大幅な縮小、インフレ抑制に向けた金融引き締めによる景気停滞、予測不能な為替の動向などが業績に対する大きな懸念材料となっています。

2023年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2022年5月12日に公表した予想数値に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,813	6,520
受取手形及び売掛金	5,213	5,577
電子記録債権	1,139	1,158
商品及び製品	750	871
仕掛品	2,000	2,018
原材料及び貯蔵品	2,234	2,486
その他	464	486
流動資産合計	18,615	19,120
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,960	2,927
機械装置及び運搬具(純額)	1,048	1,233
土地	2,386	2,386
建設仮勘定	226	158
その他(純額)	90	107
有形固定資産合計	6,713	6,813
無形固定資産	444	445
投資その他の資産		
投資有価証券	1,293	1,335
長期貸付金	3	3
繰延税金資産	362	416
その他	217	261
貸倒引当金	△20	△20
投資その他の資産合計	1,856	1,997
固定資産合計	9,015	9,255
資産合計	27,630	28,375

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,451	1,434
短期借入金	437	337
未払金	502	1,101
未払法人税等	972	439
賞与引当金	—	258
役員賞与引当金	39	—
その他	238	337
流動負債合計	3,641	3,909
固定負債		
長期借入金	103	94
退職給付に係る負債	1,192	1,172
長期末払金	278	278
資産除去債務	71	71
長期預り保証金	162	162
固定負債合計	1,809	1,780
負債合計	5,450	5,689
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,564	1,564
資本剰余金	618	618
利益剰余金	22,107	22,591
自己株式	△2,565	△2,565
株主資本合計	21,724	22,208
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	226	189
為替換算調整勘定	83	135
その他の包括利益累計額合計	309	325
新株予約権	116	116
非支配株主持分	29	36
純資産合計	22,179	22,686
負債純資産合計	27,630	28,375

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	4,425	6,017
売上原価	3,041	4,138
売上総利益	1,384	1,878
販売費及び一般管理費	470	544
営業利益	914	1,333
営業外収益		
受取利息及び配当金	10	13
持分法による投資利益	14	84
為替差益	30	165
その他	8	6
営業外収益合計	62	270
営業外費用		
支払利息	1	1
その他	6	7
営業外費用合計	8	9
経常利益	968	1,594
税金等調整前四半期純利益	968	1,594
法人税、住民税及び事業税	326	464
法人税等調整額	△64	△38
法人税等合計	261	426
四半期純利益	706	1,167
非支配株主に帰属する当期純利益	0	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	706	1,162

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	706	1,167
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15	△37
為替換算調整勘定	7	53
持分法適用会社に対する持分相当額	△18	1
その他の包括利益合計	3	17
四半期包括利益	710	1,184
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	709	1,177
非支配株主に係る四半期包括利益	1	7



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	CP事業部	GP事業部	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,579	1,811	4,391	34	4,425
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	13	15	—	15
計	2,582	1,824	4,406	34	4,441
セグメント利益	851	439	1,291	16	1,308

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない商品売上及び賃貸不動産売上であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,291
「その他」の区分の利益	16
セグメント間取引消去	△5
全社費用(注)	△387
四半期連結損益計算書の営業利益	914

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	CP事業部	GP事業部	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,048	1,931	5,980	36	6,017
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13	24	37	—	37
計	4,062	1,956	6,018	36	6,054
セグメント利益	1,342	419	1,761	15	1,777

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない商品売上及び賃貸不動産売上であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,761
「その他」の区分の利益	15
セグメント間取引消去	8
全社費用(注)	△452
四半期連結損益計算書の営業利益	1,333

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。